

倉敷市 商工業活性化ビジョン

概要版

令和4年5月

倉敷市
商工労働部商工課

1 商工業活性化ビジョンとは

ビジョンの目的

～産業振興の羅針盤～

人口減少・少子高齢化や市場のグローバル化、脱炭素・SDGsといった社会経済の変化に加えて、平成30年度7月豪雨や新型コロナウイルス感染症の拡大等、予測不可能な危機が起こる時代。地域経済を担う企業や働き手は、脅威を変革の好機と捉えて、不確実な時代をしなやかに生き抜く自己変革力が求められています。

本ビジョンは、激変する時代の潮流に地域の産業が対応していくための、市の新たな産業振興における基本的な考え方と施策の方向性を示すものであり、市民や企業、支援機関等に広く共有することを主な目的としています。

<改定の経緯>

- 「第六次総合計画」の商工業分野における中長期的な計画として、平成26年8月に「商工業活性化ビジョン」を策定。
- 令和3年4月策定の「第七次総合計画」を踏まえて、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の新たな産業振興の方向性を示すべく、次の点に留意しつつ新ビジョンを策定。
 - ・ 昨今の急激な環境変化に柔軟に対応できる内容とする
 - ・ 商工業を中心に、農林水産、観光等を含めた産業全体を視野に入れる
 - ・ 本市の産業構造や地域経済循環分析を踏まえて実効性を高める
 - ・ 商工団体や金融機関等の支援機関と連携・協働し、施策効果を高める

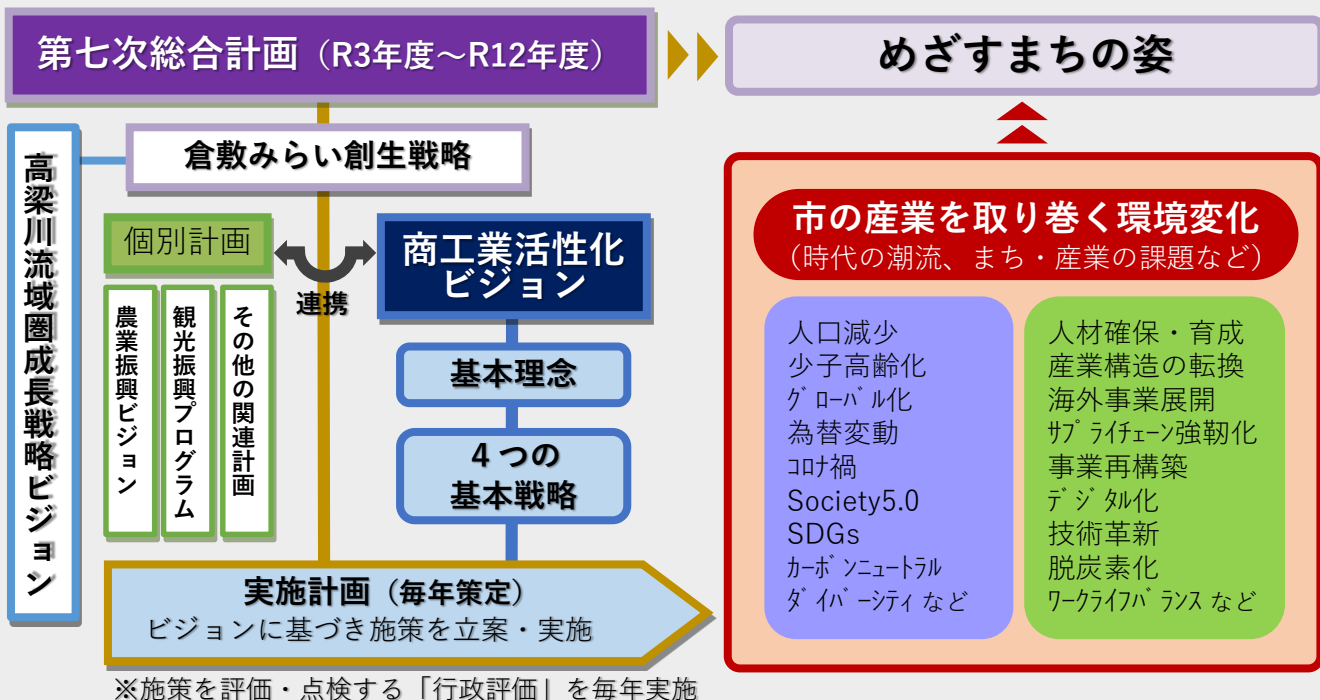
ビジョンの計画期間

令和4年度から令和12年度まで

※計画期間半ばに中間見直しを予定

ビジョンの位置づけ

第7次総合計画に掲げる「めざすまちの姿」の実現に向けて、実施計画において主に取り組む産業振興策の方向性を示しており、市職員はビジョンに基づいて施策立案を行います。



基本理念

「しなやかに成長する持続可能な地域経済の実現」

しなやかさとは困難を乗り越える力です。先が見えない時代において、急激な環境の変化にもしなやかに適応し、新たな価値を生み出していく。そうした自己変革力の高い企業が地域に群生し、多様な価値観を持った「人財」が活躍する、持続可能な地域経済社会の実現を目指します。

基本戦略

1 新時代を切り拓く、多様で自律的な産業人材の確保・育成

産業の多様化や企業の体質強化等、新たな価値創造の担い手となる多様な人財が活躍する社会の実現に向けて、企業の意識改革や、ローカルイノベーター・女性リーダー等の創出、ものづくりの技能承継、イノベーションを生み出す産業人材等の確保・育成に取り組みます。

- ダイバーシティ経営や人的資本経営等、人を中心とした企業経営の推進
- 女性・高齢者・外国人・障がい者等、多様な人材の雇用機会確保や働き方改革の推進
- DX・グローバル化・デザイン思考等、新たな価値を創造する専門人材や未来産業人材の育成
- 技能検定やマイスター制度等を活用した技術習得・技能承継の取組促進 等

2 「稼ぐ力」が高く、持続可能な地域経済の実現

繊維工業や水島コンビナート関連等の製造業、観光業や農業といった基盤産業の付加価値向上や販路拡大、域内調達や地産地消を推進し、地域の稼ぐ力と経済循環を高めます。

また、円滑な事業承継やM&Aによる新陳代謝を図り、持続可能な地域経済をつくります。

- 農商工連携や6次産業化の推進
- 地域資源の磨き上げと魅力の発信による地域ブランド力の強化
- 製造事業者と小売事業者等との連携促進による「地産地消」・「地消地産」の推進
- 水島コンビナートにおける原材料や設備、製品の共同利用・相互融通など高度連携の推進
- 研究開発機能を備えたマザー工場や産業連関効果の高い産業の立地促進
- 伝統産業や地場産業、地元の名店等、地域ブランドの要素となる企業の事業承継、M&A支援 等

3 新たな価値観に対応する、しなやかな変革の推進

豪雨災害やコロナ禍等の急激な環境変化や、脱炭素やSDGs等の新たな価値観に適応するための事業継続力や企業変革力を強化するとともに、イノベーションによる新たな産業価値の創出に取り組みます。

- IoTやAI等のデジタル技術によるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 外部の技術やアイデアを取り込んで新たな価値創出や問題解決を図るオープンイノベーションの推進
- 水島コンビナートにおける脱炭素技術・製品の開発や生産工程の脱炭素化によるグリーン成長の実現
- 絶え間なく変化する市場やビジネスモデルに適応するための経営手法等の情報提供や普及啓発
- BCP（事業継続計画）・事業継続力強化計画の策定、運用の推進 等

4 ワクワクやおもしろいを新産業に。「大いにやる可し」機運の醸成

「ワクワクする」「おもしろい」「私も関わりたい、応援したい」といった市民の共感と期待を生み出す、個性と魅力を生かしたアイデアの事業化を応援し、市内で新たなビジネス展開や創業にチャレンジする機運を高めます。

- 農業や観光、生活関連サービス分野等におけるX-Tech（クロステック）の実証支援
- ビジネスコンテストの開催や起業家・支援機関等が交流する場づくり 等

体系図

倉敷市第七次総合計画に掲げる「めざすまちの姿」(※商工業分野)

- 産業競争力が高く、多様な人材が働く機会に恵まれ、将来の暮らしに希望をもつことができている。
- 商業の活性化が地域に活力を生み、時代の流れに対応したビジネスの創出や起業が進んでいる。

基本理念「しなやかに成長する持続可能な地域経済の実現」

戦略1 新時代を切り拓く、多様で自律的な産業人材の確保・育成

多様な
人材の活躍

ダイバーシティ経営

高度人材の確保・育成

技術習得・技能承継の促進

働き方改革

SDGs

新たな価値観への対応
急激な環境変化への対応

戦略3 新たな価値観に対応する、しなやかな変革の推進

企業の
体質強化

企業変革力強化

BCP策定・運用

DX推進

オープンイノベーション

戦略4 ワクワクやおもしろいを新産業に。「大いにやる可し」機運の醸成

創業促進

クロステック

産業の多様化

脱炭素

ウィズ・ポストコロナ



稼ぐ力の向上

販路開拓・拡大

地産地消・地消地産

所得の循環

戦略2 「稼ぐ力」が高く、持続可能な地域経済の実現

資本流入促進

資本流出抑制

支援体制

- 商工会議所・商工会、金融機関等、支援機関との課題の共有、施策の方向性の確認、意見調整の場を設置。
例) 施策立案に係る意見交換会や施策説明会、支援先情報共有リストの作成等
- 支援機関の強みを生かした役割分担と高い連動性で企業の課題解決につながる新たな支援の仕組みを構築。
- ビジョンの実現に効果的な施策の内容を柔軟に見直し。
例) 実効性の高い伴走支援制度や波及効果の高い実証事業制度の構築等

